

# 加藤内科広報新聞 10月号

朝晩と気温も下がり、日中との気温差により体調を崩される方も日に日に増えています。体調管理は難しいですが、お体には十分お気を付けてください。

インフルエンザ予防接種の季節がきました。

インフルエンザ予防接種のご案内をさせていただきます。



## \* インフルエンザ予防接種のご案内 \*

10月21日(月)より開始いたします。(\*予約制ではありません)

対象者	金額			問診票
		当院かかりつけ医	左記以外の方	
65歳以上の 堺市在住の方	1回目	1500円	1500円	ブルー
	2回目	3300円	3850円	白
13歳以上の方	1回目	3300円	3850円	白
	2回目	3300円	3850円	白
3歳~13歳未満の方	1回目	3000円	3500円	白
	2回目	3000円	3500円	白
3歳未満の方	1回目	3000円	3500円	白
	2回目	2500円	3000円	白

\*当院かかりつけ医とは、平成28年以降、診察や健診で1回以上の診察履歴がある方とします。ただし、予防接種のみでの来院履歴の方は、かかりつけ医の対象外となりますので、ご了承ください。

### \*接種当日のお願い

問診票の記入・検温(37.0℃以下)をご自宅で済ませて、診察券・保険証・医療証をお持ちの上お越しください。お熱が37.0℃以下でも風邪症状がある場合や、周りに風邪を引いている方がいる場合は接種を控え、体調の良い日にお越しください。接種が出来なかった場合、診察料がかかります。

### \*予防接種可能な日時 (受付は診察時間終了の30分前です)

#### 診察時間内

◇ 午前の診察時間内 午前9~12時 (受付は11時30分まで)

◇ 月・火・水・金曜日の午後の診察時間内 午後5~8時 (受付は7時30分まで)

現在、当院で継続的な通院・投薬治療をされている患者様は診察に来られた日に接種が出来ます。

診察される日に予防接種もご希望の方は、あらかじめ問診表をご記入の上、検温を済ませてお越しください。



予防接種専用日 11月9日(土) 午後2時~4時

予防接種専用日以外で予防接種のみで来られる場合、診察の方が優先となり待ち時間が長くなる場合があります。なるべく、予防接種専用日にお越しいただくようお願い致します。

### インフルエンザ予防接種助成制度について

堺市では、堺市在住で市民税非課税世帯に属する方や生活保護世帯の方等、ワクチン接種の実費負担が免除される制度があります。詳しくは医療機関窓口または地域の保健センターにお問い合わせください。

西区保健センター TEL 271-2012

## ～インフルエンザ予防接種に対するQ&A～



インフルエンザとは、インフルエンザウイルスに感染することによって起こる病気です。普通の風邪とは異なり、突然の38℃以上の「高熱」や、関節痛、筋肉痛、頭痛などの他、全身倦怠感、食欲不振などの「全身症状」が強く現れるのが特徴です。併せて普通の風邪と同じように、のどの痛み、鼻汁、咳等の症状もみられます。普通の風邪と比べて、重症化しやすく、特に心臓病、慢性の肺疾患、糖尿病、腎臓病などの慢性疾患をお持ちの方は、肺炎を併発したり、症状を悪化させてしまう恐れがあるので十分注意してください。

### Q：毎年接種したほうがいい？

A：インフルエンザウイルスは毎年のように変異しながら流行します。ワクチンは毎年そのシーズンの流行を予測して作られます。また、ワクチンの感染予防効果は接種後2週間から5ヶ月程度までと考えられていますので、インフルエンザの予防に十分な免疫を保つためには毎年接種を受けた方がよいでしょう。

### Q：2回接種したほうがいい？

A：13歳未満の方は2回接種、13歳以上の方は1回接種となります。

13歳以上の方は基本的に1回接種となっておりますが、持病などの理由で2回接種を希望される方は、1回目接種の際に医師にご相談ください。

### Q：1回目と2回目どれくらいあけるといいの？

A：13歳未満の方は2～4週間あけて2回目の接種を、13歳以上で2回接種の必要な方は1～4週間あけて2回目の接種をすることで効果が少しアップし、有効期間を長く持続することが出来ます。当院では3週間あけて2回目の接種をお勧めしております。

予防接種をしたからと言って、インフルエンザにかからないわけではありません。予防接種の目的は症状を軽くし、重症化を防ぐためです。予防接種をし、インフルエンザにかからないように、うがい・手洗い・外出時マスクの着用等の予防も心がけましょう。

インフルエンザ予防対策!!

### Q：他の予防接種もしたいが、どれくらいの期間あければいい？

A：インフルエンザの予防接種の接種日から1週間あけると、他の予防接種が出来ます。また、これからインフルエンザの予防接種を受けられる方は、生ワクチン接種後は4週間、不活化ワクチン接種後は1週間あけてからの接種となります。

### Q：妊娠中・授乳中でも接種は可能？

A：支障ありません。インフルエンザワクチンは不活化ワクチン(病原性をなくしたウイルスを使用しています)ですので、胎児や母乳を介してお子様への影響はありませんが、心配・不安がある方は現在かかっている産婦人科にて、ご相談ください。

### Q：副反応にはどのようなものがある？

A：接種した場所の赤み(発赤)・腫れ・痛みなどが出ることがありますが、通常2～3日でなくなります。全身の反応としては、風邪のような症状・発熱・頭痛・寒気(悪寒)・倦怠感などが見られますが、こちらも通常2～3日でなくなります。もし症状が治まらない場合は、医療機関を受診してください。また、稀ではありますが、ショック・アナフィラキシー様症状(発疹・じんましん・赤み(発赤)・掻痒感(かゆみ)・呼吸困難など)が見られることもあります。そのような異常が認められた場合には、速やかに医師に連絡して下さい。たまごアレルギーの方は前もって医師にお伝え下さい。



## 消費税引き上げに伴う医療費等の変更に関するお知らせ

令和元年10月1日から消費税法の改正に伴う診療報酬改定により一部保険料が変更となります。保険適用外の料金については、10%の消費税を請求させていただきます。

消費税法改正に伴い、患者様にお支払いいただく医療費等に変更がございますこと予めご了承ください。

